

## ～ 修了しました ～

日本列島を大雪が襲った2月の週末、8名の自衛官が羽田を飛び立ちました。雪ではなく、蚊と闘うために。ではなく、自動車整備教育の総仕上げ部分を担当するためです。

2月19日（水）、2台の車でメテナロ基地に乗り込みます。隊長に挨拶を、と本部に向かいますが、誰もいません。ようやく見つけた人に聞くと、「昨夜訓練があって、今日はお休み」とのこと。仕方なく、できる作業から始めることに。とは言え、担当者がいなければ何もできません。見かけた人に聞き回り、担当者の電話を鳴らし続け、なんとか予定通りの準備を進めることができました。

初日はサプライズから始まりましたが、様々な人たちの協力を得て、なんとか準備完了！週末は雨模様の中、市内観光へ。テトゥン語をマスターすべく辞書を買ったり、カバンに入らないほど大きな木彫りのワニを買ったり、充実した休日でした。



丘の上のカフェでティモールコーヒーを堪能

いよいよ、自衛官の教育開始です。厳しい日本式の教育に、始めは受講生が戸惑う場面もありましたが、自衛官の熱意が伝わったのか、メリハリのある、良い教育の雰囲気が出来上がりました。お互い片言のテトゥン語、日本語、そしてタバコが重要なコミュニケーションツール。

東ティモール軍が保有している4tトラックを使用した教育は、今回が初めてです。トラックの整備は、整備士のロマンでしょうか。座学の時には死んだような目をしていた受講生たちが、喜々として授業に参加しています。今回は、自衛官（日本語）→日本人通訳（日本語/英語）→ティモール人（英語/テトゥン語）→受講生（テトゥン語）という2段階通訳方式による教育です。とにかく時間がかかりましたが、教官も受講生も通訳も、辛抱強く取り組みました。汚れた車体を積極的に掃除したり、必要な工具をサッと取りに行ったり。彼らの学習意欲の高さがうかがえます。



初めての自衛官との朝礼！



教育もやる気満々！

3月5日（水）には、災害発生時を想定した野外整備のデモンストレーションを行いました。緊急時に野外で整備をする、という全く新しい経験を、10人の受講生は自衛官を通して体験しました。来年は自分たちが出来るようになる。彼らの次年度教育への期待は高まります。ちなみに、この日は急遽祝日となったにもかかわらず、10名の受講生は教育に参加してくれました。



雨よけのシートをかけて作業。暑い！



車の下ではこんな風ががんばっています

3月7日（木）、修了式。日本から8名の出張者を迎えての盛大な式となりました。受講生には、武器学校代表から本教育の修了証が授与されました。日本人関係者、外国人アドバイザー、東ティモール軍参謀長を始めとする総勢50名以上の関係者に囲まれ、受講生たちは誇らしそうです。最後まで5分前行動は身につきませんでした。受講生たちの中にも、東ティモール軍の中にも、少しずつ、そして確実に教育の成果が感じられた3月でした。



リハーサルをした修了証授与。決まった！



うれしい受講生からのサプライズ



一緒に協力してくれた通訳とドライバー

お別れ。挨拶は、「アディオス」ではなく、「次はいつ?」。彼らには来週から英語教育が残っています。英語よりも、この2週間で使い始めた日本語を覚えた方が早いかもしれません。

返事は? 「リョーカイ！」

発行：防衛省国際政策課能力構築支援室